

**クロレラの抗炎症作用に関する研究成果が  
学術誌に掲載されました**  
医学と生物学に掲載

**【研究目的】**

我々はこれまで慢性炎症モデルであるアジュバント関節炎ラットに対するクロレラの抗炎症作用を学会にて報告してきましたが、その研究成果を論文にまとめ、学術誌「医学と生物学」に投稿しておりましたところ、この度、掲載が決定いたしましたのでここにご報告いたします。

研究内容に関しましては、過去の学術発表に関する[資料](#)をご参照下さい。

**《詳細》**

雑 誌 : 医学と生物学 Vol.155 第2号(2011) 72-77

タイトル : クロレラの長期投与によるラットアジュバント関節炎モデルへの影響

著 者 : 齋藤昌子<sup>1</sup>、竹腰英夫<sup>1</sup>、中鉢博文<sup>1</sup>、Kun-Yuan Lin<sup>2</sup>、Fong-Chi Cheng<sup>2</sup>、今西英世<sup>2</sup>

所 属 : 1)株式会社サン・クロレラ、2)リセルカバイオサイエンス

この情報は、学術雑誌や学会において発表された内容の掲載であり、商品の販売促進を目的とするものではありません。